

新庁舎および新スポーツ施設の整備に関する基本構想を策定

市役所庁舎（本庁舎棟・議会議棟・別館庁舎棟）と文化スポーツセンターは、耐震診断調査の結果、震度6、7の大地震が発生した場合、建物の倒壊または崩壊の危険性が指摘されました。

市では、公共施設マネジメントの取り組みにおいて、両施設の建て替えを優先的に取り組む事業として位置付け、検討を進めています。この度、整備にあたっての基本的な事項を定める基本構想を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

問アセットマネジメント推進課 ☎845

施設建設までの流れ

現在、「基本構想」の段階です。

基本構想

基本的な考え方を整理したもの

基本計画

具体的な考え方を整理し、その後の基本設計に反映すべき事項となるもの

基本設計

平面・立面・断面などの基本的な図面としてまとめたもの

実施設計

工事を行うために、材料・寸法・数量・費用・建物のデザインなどを詳細な図面積算としてまとめたもの

建設工事

庁舎建設基本構想

新庁舎の考え方

「これからのあるべき姿」として、基本理念と5つの基本方針をまとめました。

基本理念

「共生・協働」「安全・安心」をまちづくりの基本とし、「住みやすさナンバー1のまち八潮」を実現するための拠点とする。

基本方針

I 市民の利便性が高く、共生・協働の場となる庁舎
○市民サービスにおける機能性、効率性の高い庁舎
○ユニバーサルデザインに対応し、来庁者が安心して利用できる庁舎

II まちづくりや災害時の拠点となる、安全・安心な庁舎
○防災拠点にふさわしい庁舎
○多機能で、みんなの集いや交流の場となる庁舎

III 機能的で働きやすく、環境にやさしい庁舎
○地震、水害などの災害に強い庁舎

○効率が良い動線を確保した庁舎
○再生可能エネルギー（※）の利用など環境負荷に配慮した庁舎
※再生可能エネルギー：太陽光、水力、風力、バイオマス、地熱など、枯渇せずに利用することのできるエネルギーのこと

○自然環境を活かし、省エネルギーを実現する庁舎
IV 将来の変化に柔軟に対応できる庁舎
○効率的・経済的な庁舎
○高度情報化や多様なニーズなどに柔軟に対応できる庁舎

V 八潮らしさが感じられる庁舎
○八潮らしいデザイン性・シボル性など、魅力のある庁舎

○市民サービス機能
①市民サービスの利便性・効率性を高める窓口体制や安全・安心に利用できる庁舎機能などを検討します。

②共生・協働機能
市民同士の交流の場、集いの場の整備や市の魅力など情報発信の場の整備を図ります。

③防災拠点機能
防災中核拠点とするために、各種機能の強化や災害対策本部としての防災情報ネットワーク

④行政執務機能
効率的かつ円滑な事務処理への対応や良好な執務環境の維持などについて検討します。

⑤議会機能
議会機能が十分に発揮できる環境の整備を図ります。

⑥環境に配慮した機能
省資源・省エネルギー施設・設備の導入の検討や、良好な景観形成を目指します。

⑦その他機能
市のイメージ・魅力の向上を図るための取り組みを推進します。

⑧その他、必要な機能
複合化・集約化を検討する機能および利便機能を含む民間施設については、今後の基本計画において検討します。

⑨新庁舎の建設場所
耐震性の早期確保および目指すべき都市構造・まちづくりの方向性の考えから、「現庁舎敷地を中心としたエリアが新庁舎の候補地として、現時点では望ましい」としています。

⑩おおむねの規模、事業費
新庁舎の規模は、国の基準や他市の事例を参考に庁舎単体として延床面積1万123

1平方メートル〜1万5156平方メートル程度と想定しています。また、事業費は、近年の建設需要や工事費の高騰、他自治体の事例から、51億円〜69億円程度と想定しています。

今年度具体的に検討する事項

基本計画を策定します。必要な機能・事業手法や事業スケジュールなど具体的に検討していきます。



新スポーツ施設整備基本構想

新スポーツ施設の考え方

新たなスポーツ施設の整備にあたり、基本理念と基本方針などをまとめました。

基本理念

スポーツによる 多世代の交流やふれあいを通じて 市民

民の健康づくりと人づくりを支える 安全で快適なスポーツ拠点の創造

基本方針

①スポーツの拠点施設としてふさわしい機能を有すること
○多種・多様なスポーツを楽しめることともに、トレーニングができる機能
○大規模な大会などが開催できる規模・量を備えた機能
○各種大会の開催などが円滑に行える、体育室や本部室などの諸室の機能
○観客席や駐車場の充実など、「みる」スポーツに対応できる機能

○スポーツに関する情報などが収集・発信できる機能
②スポーツによる多世代の交流や人材の育成などが図られる機能を有すること
○誰もが気軽に体を動かし健康増進を図ることができる機能
○スポーツの裾野を広げるための多様なスポーツ教室が開催できる機能
○トップアスリートや指導者の育成ができる機能
○各種スポーツ団体などの活動が行える機能

③災害時に必要となる機能や、経済的かつ快適性の高い機能を有すること
○耐震性が高く、災害時の防災拠点として運営できる機能
○太陽光など自然エネルギーを生かした機能
○ユニバーサルデザインに十分配慮した設備・サインなどの機能
○空調機器、シャワー、更衣室などの設備が充実した機能
○メンテナンス性・柔軟性に優れた施設・設備の機能

④建設候補地
市全体におけるまちづくりの考え方や整備にかかる費用負担が市の財政に与える影響などを踏まえて検討した結果「みどりの広場（※）およびその周辺が望ましい」としています。
※みどりの広場：やしお生涯学習館南側の広場

⑤おおむねの規模
「八潮市公共施設マネジメント基本計画」において、スポーツ施設は人口の将来推計や年齢構成などを踏まえ、今後30年かけて1つの施設に集約することとしています。

また、市では、公共施設マネジメントにおける基本的な考え方として、「財政的な制約があるなかで適切な公共施設マネジメントを実現していくためには、総量の適正化を図り、適切な範囲内で総量を抑制することが重要であるため、集約する際は既存のスポーツ施設（文化スポーツセンター、エイトアリーナおよびゆまにて体育室）を合計した面積を基準として検討することとしています。

⑥今年度具体的に検討する事項
新スポーツ施設の整備スケジュールについては、市の財政状況を踏まえ、庁舎の整備スケジュールを見据えながら検討します。

